



Corporate Profile 会社案内



証券コード: 3098

ドラッグストア・調剤事業を主軸に 幅広いヘルスケアサービスを提供

ココカラファイングループは「おもてなしNo.1」を目指し、「人々のココロとカラダの健康を追求し、地域社会に貢献する」という経営理念のもと、事業を展開してきました。2013年4月には、ドラッグストア・調剤事業を運営する販売子会社を統合し、(株)ココカラファインヘルスケアを設立。少子高齢化がますます進むなかで、お客様へのおもてなしをより高めていくために、意思決定の迅速化と経営効率の向上を実現する体制を構築しました。

ドラッグストア・調剤事業だけでなく介護事業、商品企画開発事業、ネット通販事業まで周辺事業を拡大、それぞれの事業連携により、地域におけるヘルスケアネットワークを構築することで、お客様の健康をトータルでサポートし、QOL(Quality of Life)の向上を支援いたします。

経営理念

人々のココロとカラダの健康を追求し、
地域社会に貢献する

コーポレートスローガン

「おもてなしNo.1」になる

ミッション(社会的使命)

- 地域におけるヘルスケアネットワークを構築する
- 社会に必要とされる優れた人財を育成する

CONTENTS

P.02 プロフィール・経営理念

P.03 グループ概要

P.04 社長メッセージ

P.05 事業領域

P.06 ドラッグストア事業

P.08 調剤事業

P.09 介護・訪問看護事業/
EC事業／製品企画開発事業

P.10 CSR

(株)ココカラファイン 持株会社

ドラッグストア・
調剤事業

(株)ココカラファインヘルスケア
北海道から沖縄県まで1,300店超の店舗を展開



(株)岩崎宏健堂
山口県、広島県に
て62店舗を展開

機能会社

(株)ココカラファインネクスト
H&BC(ヘルス&ビューテ
ィケア)を中心とした付加
価値商品を企画開発



(株)ココカラファインOEC
ネット通販事業を展開



可開嘉来(上海)商貿有限公司
中国におけるドラッグ
ストア事業を展開



介護事業・
訪問看護事業

(株)ファインケア
地域社会のライフサポート事業を推進



(株)ココカラファインアソシエ
多様な人財が能力を發揮できる
新しいワークスタイルを創造



ココロ、カラダ、ゲンキ。を提供する 身近なヘルスケア企業を目指しています。



代表取締役社長

塚本 厚志

当社は、全国に1,300店舗を超えるドラッグストア、調剤薬局を展開している企業です。私たちは単にモノを売るドラッグストアとしてではなく、「ココロ、カラダ、ゲンキ。」を提供する拠点として店舗・薬局を運営し、「人々のココロとカラダの健康を追求し、地域社会に貢献する」ことが当社の使命であると考えております。

近年、さまざまな災害や経済危機に見舞われた我が国では、既存の経済至上主義から脱却した温もりのある新しい社会像が求められています。また、65歳以上の高齢者人口が3,000万人を超える超高齢社会の中で、医薬分業・面分業・保険介護など、さまざまな制度改革が行われ、病気の予防や軽医療、健康維持に重点を置くセルフメディケーション時代への本格移行が進んでおります。これからのドラッグストアには、単に「病気になったから薬を買いに行く」という機能だけでなく、「病気を未然に防ぐ」、あるいは「健康を維持する」という機能がますます重要になってきます。

このような時代に私たちは、ドラッグストア・調剤薬局を各地で展開していた販売子会社6社を統合し、2013年4月に(株)ココカラファインヘルスケアを誕生させました。この新組織のもと、コーポレートスローガンにも掲げている「おもてなし」をさらに追求し、お客様・患者様にとって、より身近で重要な役割を果たす新しい医療拠点としての存在意義を高めた「ライフスタイル提案ストア」の構築を図ります。当社の中核事業であるドラッグストア・調剤事業を軸に、介護事業、インターネット販売事業などとも連携しながら「地域のヘルスケアインフラ」として、地域のお客様に信頼され支持される企業を目指してまいります。

地域の皆様の健康をトータルでサポートする ヘルスケアネットワークの構築を目指して



健康の6つのステージをトータルでサポート

ドラッグストア

- 生活習慣病の予防
- HBCに関するアンチエイジング提案

薬剤師

登録販売者

栄養士

2014年3月期
小売売上高

2,738
億円

「おもてなし」を重視した、豊富な専門知識に裏付けられたカウンセリングによる接客販売には定評があります。薬剤師や栄養士はもちろんのこと、一般用医薬品(大衆薬)の販売資格を持つ登録販売者が、健康相談や食事療法・栄養指導などを通じて病気の予防に貢献するとともに、HBC(ヘルス&ビューティケア)に関するお客様の悩みやニーズに応え、「美と健康」のお役に立っています。

調剤

- 調剤 ●在宅調剤

薬剤師

2014年3月期
調剤売上高

442
億円

調剤事業では、豊富な専門知識を備えた多くの薬剤師が、全店舗で一元化された調剤新システムを活用し、安全かつ正確な調剤業務・服薬指導にあたっています。また、社会的ニーズが年々高まっている在宅医療についても、地域の医療機関や福祉施設と連携した取り組みを強化し、在宅療養される患者様をサポートできる体制を整えており、順次、対応店舗の拡充を進めています。

介護・訪問看護

介護・訪問看護

- 施設介護 ●在宅介護 ●訪問看護

ケアマネージャー

理学療法士

看護師

2014年3月期
介護売上高

18
億円

サービス付高齢者向け住宅や有料老人ホームなどの居住系介護サービス、デイサービスなどの通所系介護サービス、在宅介護や訪問看護などの在宅系介護・看護サービスまで、トータルに提供しています。利用者様やそのご家族の方が安心して生活できる環境を整え、グループ企業が持つさまざまなサービスとの連携を図りながら、利用者様のQOL(Quality of Life)の向上を支援しています。

ドラッグストア事業

1,300店舗超を展開する業界有数の事業基盤

ココカラファイングループの中核事業であるドラッグストア事業を手がけるのが、株式会社ココカラファインヘルスケア。2013年4月にセイジオー、セガミメディクス、ジップドラッグ、ライフオート、スズラン薬局、メディカルインデックスが合併して誕生したばかりの、新しい会社です。2013年10月には、コダマも合併されました。新会社とはいえ、合併したのはいずれも各地で長い歴史を積み重ねてきた有力企業ばかりですから、その実力は業界でもトップクラス。

2013年11月にグループに加わった岩崎宏健堂の店舗も含め、全国には1,300超のドラッグストアが広がっています。この業界トップクラスの店舗数を活かし、スケールメリットを最大限に発揮するとともに、エリアに密着したきめ細かいマーチャンダイジングを展開することで、さらなる事業基盤の増強を図っていきます。



※店舗数は2014年3月31日現在

8ブランドを展開



▶ 特徴 1

当ドラッグストアの特徴は、豊富な専門知識とカウンセリングによる接客販売に重点を置いた付加価値の高いサービスを提供していることにあります。社員やスタッフの教育体制を充実させ、H&BC(ヘルス&ビューティケア)関連商品を中心に幅広い品揃えとおもてなしでお客様のニーズにお応えしており、低価格志向のドラッグストアとは一線を画しています。



▶ 特徴 2

当グループは個々のお客様に愛されるお店づくりを目指し、エリア(地域)軸、業態軸、商品軸のそれぞれの観点から店舗の最適化を行っています。1,300超の店舗を「都市型ドラッグストア」「商店街型ドラッグストア」「住宅地型ドラッグストア」「郊外型ドラッグストア」の4つに分類し、それぞれの形態に合わせたきめ細やかな販売促進や品揃えを実現する取り組みで地域密着化を推進しています。



▶ 特徴 3

2013年7月に全店共通のポイントカードとして誕生したのが会員制ポイントカード「ココカラクラブカード」。月間および年間の累計購入金額によってポイント付与率が変わるほか、VISA加盟店で使用できるプリペイド機能を備えていることも特徴です。このココカラクラブカード稼働会員(直近1年間で購買実績のある会員)のうち、購買額が月間5千円以上または年間5万円を超えるお客様を当グループのファン、『ロイヤルカスタマー』と位置付けています。クラブカードと連動した会員限定Webサイト「ココカラクラブ」での会員向けプログラムの拡充など、さまざまな角度からお客様へアプローチし、お客様満足の向上を図りながらココカラファインのファンを増やす取り組みをしています。



海外事業

東アジアに焦点を当て、海外でのドラッグストア事業を展開

近年、人口増加と経済成長を背景にドラッグストア市場が拡大しつつある海外、特に中国をはじめとする東アジアに、業界に先駆けて進出しています。中国(上海)では、日本のドラッグストア業界では初となる100%出資の現地法人が店舗を展開。「VIVCOシリーズ」などのPB商品について輸入許可を取得し、中国やタイを中心に販売を開始しております。



調剤事業

医療モールにも積極出店、 在宅調剤への取り組みでも先行

ココカラファイングループは、医薬分業時代の本格的な到来を見越して、ドラッグストア業界でもいち早く調剤事業に取り組んできました。長い年月をかけて安全・確実な調剤サービスを提供してきた結果、調剤報酬はドラッグストア業界でもトップクラスの実績を誇っています。

セルフメディケーション時代の「かかりつけ薬局」を目指し、調剤専門店はもちろん、ドラッグストアに調剤薬局を併設した「ドラッグ&調剤」店舗の出店や医療モールへの積極展開を推進。在宅で療養される患者様への調剤サービス、後発医薬品の使用比率増大や拠点数の拡大、24時間調剤への対応などへの取り組みもいっそう強化する方針です。

これからの調剤薬局には、単に調剤サービスを提供するだけでなく、健康増進に役立つ商品の販売や、健康関連セミナーの実施などを通じて、患者様に対しさまざまな価値を提供することが求められます。「地域密着型のかかりつけ薬局」を目指す当社の店舗は、医療や介護など幅広い関連業界とのネットワークを構築し、地域の皆様のQOL (Quality of Life) 向上に貢献できる存在となることを目指してまいります。



ドラッグストア業界ランキング*

月間1,000枚以上
処方箋応需
店舗数 **第1位**

調剤報酬額、調剤事業売上比率とも
業界トップクラス

出展：ドラッグマガジン2014年7月号



介護・訪問看護事業

コア事業と連携した豊富なサービスメニューで事業拡大

訪問介護をはじめ、訪問看護やデイサービス、ショートステイ、グループホームや有料老人ホームなどの施設運営に加え、2013年3月にはサービス付き高齢者向け住宅と地域のヘルスケアネットワークをつなげた「狭山モデル」の運営にも着手。社会的ニーズの高まりを踏まえ、コア事業であるドラッグストア・調剤事業との連携で差別化を図り、事業領域を拡大しています。



サービス付き高齢者向け住宅「あおぞら」
(埼玉県狭山市)



EC事業

ドラッグストア事業とのオムニチャネルでお客様との接点拡大

スマートフォンやタブレット型端末など、端末環境の変化にも対応しながら、第1類医薬品を含めた各種医薬品をはじめ、実店舗を超えるH&BC(ヘルス&ビューティケア)商品を品揃えすることで、お客様の利便性向上を図っています。ココカラクラブカードとのポイント共通化や、実店舗との相補的な販売促進や情報提供の実施などにより、コア事業とのシナジーを発揮するオムニチャネル戦略を推進してまいります。



製品企画開発事業

ドラッグストア事業とのシナジーで、差別化商品を開発

専門的な知識でのカウンセリングに強みを持つ当社グループの特徴を活かし、お客様のお悩みやニーズに応えるPB商品を開発することで、競合他社との差別化を図っています。お客様の肌のお悩みを受け、特許技術を持つ九州大学と産学連携で開発し、年間16万個の販売実績を誇る化粧品「VIVCOシリーズ」や、活き活きとした日常生活をサポートする健康食品など、ヒット商品も誕生しています。開発した商品を当社グループのドラッグストアで販売するほか、他社への商品供給も行っています。



地域貢献

当社グループの強みを活かした災害時支援

健康や災害に対する意識が高まるなか、ドラッグストアには地域のライフラインとしての役割がこれまで以上に求められています。東日本大震災においては日常服用しているお薬を持たないまま避難された方が多く、その症状を伺う医療スタッフも不足していたなか、当社の薬剤師は、培ってきた知識を活かし、現場の医師、看護師と連携しながら、患者様に適切なケアを行いました。

また、静岡県熱海市を始めとした県内11の自治体との間に、災害時に生活物資などを提供する協定書を締結しております。同様の協定は長崎県や和歌山県の自治体とも締結しております。



環境

環境負荷低減に向けて全店舗の照明設備をLED化

店舗での省エネ設備の導入などに取り組んできました。新規出店する店舗やリニューアルする店舗でLED照明の導入を進めた結果、グループ全店舗での導入が完了しております。

店舗照明をLEDにすることで、照明電力使用量は従来比で約51%削減できます。今後もより環境負荷を低減させた店舗の開発を進めていきます。

照明電力使用量の推移



CSR 人々のココロとカラダの健康に 資する取り組みを様々な場面で展開

教育支援

小学生向けの教育図書 「ドラッグストアと調剤のひみつ」 制作に全面協力

全国約22,300校の小学校と約3,200館の公立図書館に寄贈されております小学生向けの教育図書「ドラッグストアと調剤のひみつ」の企画・制作に全面的に協力しました。薬を中心とした健康に関する知識をもった薬剤師・登録販売者などの専門家や、ドラッグストアの役割を理解してもらい、また、当社スタッフが日々心にかけている「おもてなし」の大切さが伝わることを期待しています。



社会貢献

子供たちが将来や社会について 考える職業体験型施設を 「キッズニア甲子園」に出展

職業・社会体験型施設「キッズニア」のオフィシャルスポンサーとして、ドラッグストアのパビリオンを出展しました。ドラッグストア内の調剤薬局で働く「薬剤師の仕事」と、健康維持などに携わる商品のデザインをする「オリジナル商品を作る」という2種類の体験をすることができます。ドラッグストアがお客様・患者様のココロとカラダを元気にする医療拠点であることを理解してもらおうと同時に、医療を身近に感じ、セルフメディケーションの大切さを学ぶ場となることを期待しています。

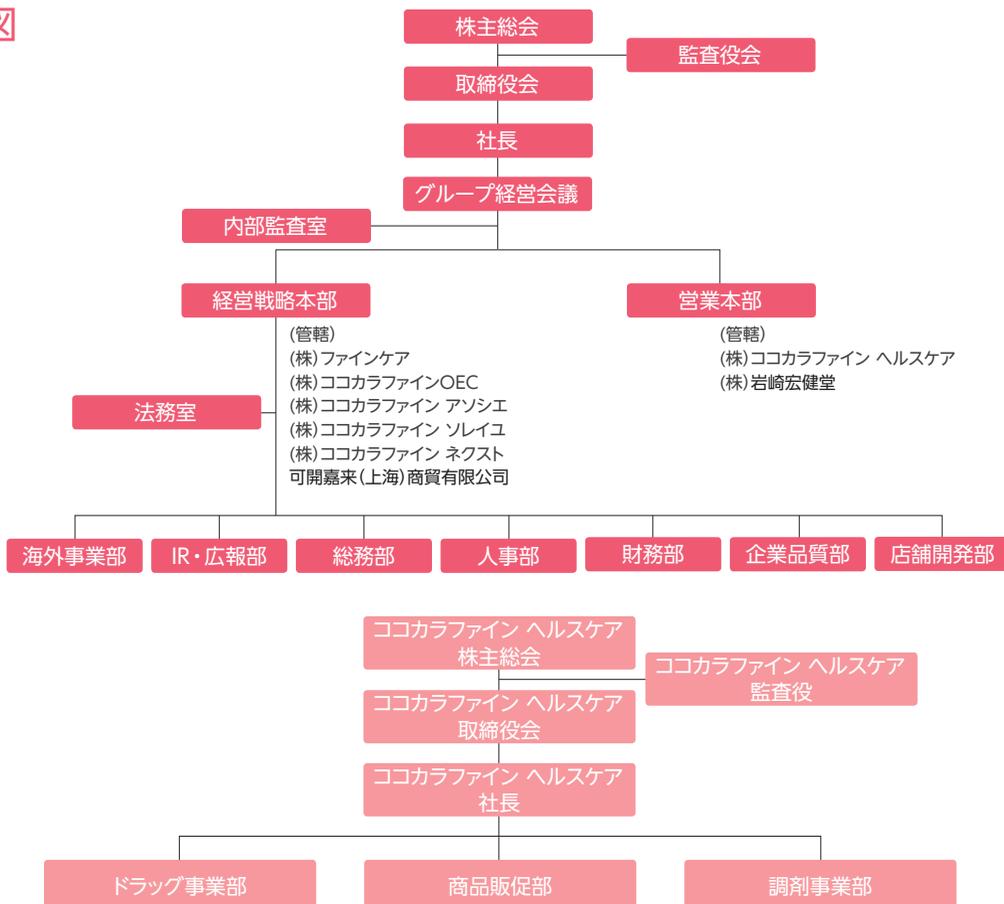


CORPORATE PROFILE

会社概要

- 名称** 株式会社ココカラファイン
- 事業内容** ドラッグストアチェーンの運営等を行う子会社およびグループ会社の経営計画・管理ならびにそれに付随する業務
- 本社所在地** 〒222-0033
神奈川県横浜市港北区新横浜3-17-6 イノテックビル
Tel. 045-548-5929
- 設立日** 2008年4月1日
- 資本金** 10億円
- グループ会社**
- 株式会社ココカラファイン ヘルスケア
〒222-0033
神奈川県横浜市港北区新横浜3-17-6
イノテックビル
 - 株式会社ファインケア
〒336-0025
埼玉県さいたま市南区文蔵2-2-1
デイリーケアセイジョー
南浦和西口店2階
 - 株式会社ココカラファインOEC
〒222-0033
神奈川県横浜市港北区新横浜3-17-6
イノテックビル
 - 株式会社岩崎宏健堂
〒745-0882
山口県周南市下一の井手5636-5
 - 株式会社ココカラファイン アソシエ
〒143-0023
東京都大田区山王2-1-7
 - 株式会社ココカラファイン ソレイユ
〒143-0023
東京都大田区山王2-1-7
 - 可開嘉来(上海)商貿有限公司
上海市漕溪北路398号 匯智大廈203号
 - 株式会社ココカラファイン ネクスト
〒222-0033
神奈川県横浜市港北区新横浜3-17-6
イノテックビル

組織図



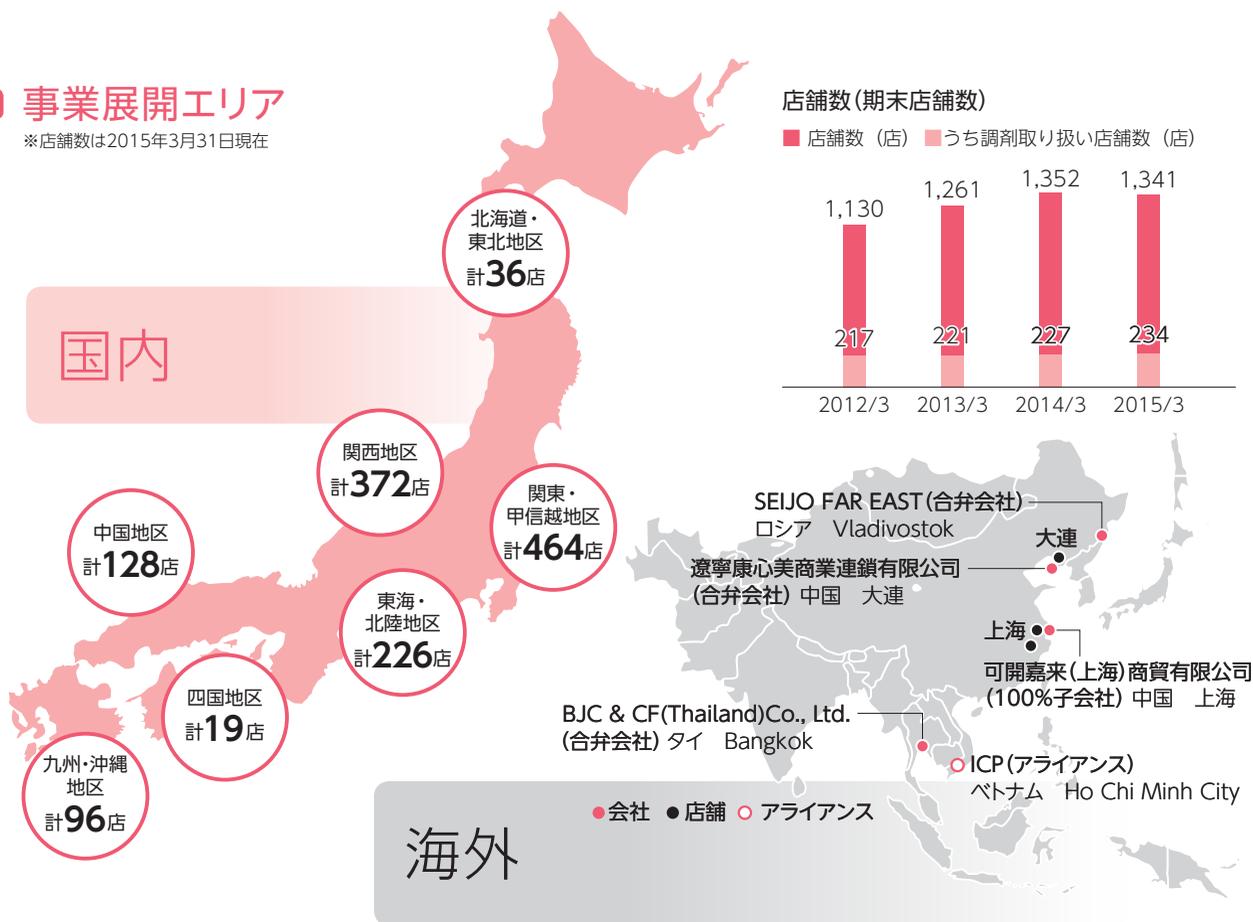
沿革

- 2008年 4月 セガミメディクス(株)と(株)セイジョーが経営統合し、株式移転により(株)ココカラファインホールディングスを設立。
- 2010年10月 (株)アライドハーツ・ホールディングスと合併し、(株)ココカラファインへ商号変更。本社を神奈川県横浜市へ移転。
- 2011年10月 北海道でドラッグストア・調剤事業を展開する(株)スズラン薬局の全株式を取得、子会社化。

- 2012年 4月 介護事業を営む孫会社タカラケア(株)を(株)ファインケアに商号変更し、子会社としてグループの介護事業を集約。
- 2012年11月 新潟県を中心とする甲信越・東北エリアでドラッグストア・調剤事業を展開する(株)コダマの全株式を取得、子会社化。
- 2013年 4月 子会社の(株)セイジョー、セガミメディクス(株)、(株)ジップドラッグ、(株)ライフオート、(株)スズラン薬局、(有)メディカルインデックスの6社が合併し、「(株)ココカラファインヘルスケア」が誕生。
- 2013年11月 (株)岩崎宏健堂の全株式を取得、子会社化。

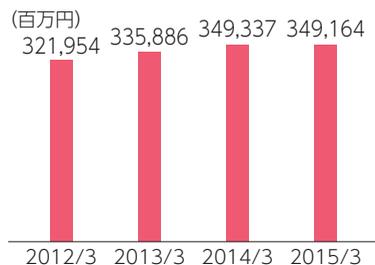
事業展開エリア

※店舗数は2015年3月31日現在



業績ハイライト

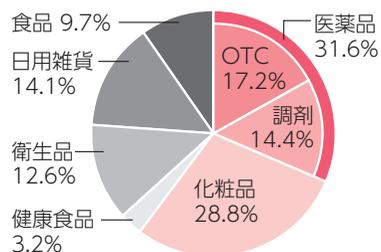
売上高



経常利益



商品分類別売上高構成比(2015/3)





ブランドの由来

「皆様のココロとカラダをゲンキにしたい」この思いからココカラファインというブランドが誕生しました。また、英文のCOCOKARAの「COCO」には、様々なステークホルダーの方々と「ともに (Co-Work)」新しいことに挑戦し、「ここから始まる」という意味も含んでいます。

ロゴマークについて

「いきいきとした」「親しみのある」「心地よい」の3つを基本に、ブランドロゴデザインを開発しました。心地よい安心感を与えるブランドカラー「Cコーラル」で表現されたシンボルマーク「Cコロ」は、ブランドの頭文字の「C」と、「すなわち」をあらわす「:(コロ)」の組み合わせで構成。また、「C」と「:」の間に見える白十字は、医薬品を取り扱う企業として、お客様に約束する安心・安全・信頼を表しています。

ココカラファインです。
どうぞよろしく
お願いいたします。



